

➤ 地域交通サービスが持続していくために、それを担う住民自身のモチベーション維持が必要。

**知恵袋**

**「住民が新たな交通サービスを支えることのインセンティブ」を行政側が示すことで、住民のモチベーションを高めることにつながった**

⇒ **行政のサポートを受けつつ住民主導によりデマンド交通を実現【山形市】**

- ・ 山形市の大郷明治地区の取組では、山形市は自主運行交通に対する補助の上限額を定めたものの、運行方式の決定は地元の運営協議会に任せため、運賃収入等が伸びれば、その分だけ運行費に回せることになり、地域の実情に応じた生活交通の確保が可能となった。
- ・ 住民の努力次第でサービス水準に影響を与えることができるため、住民のモチベーションを高めることにつながった。

**知恵袋**

**生活バスの成果を協賛企業に常にPRすることで、協賛企業の社会貢献意識を喚起**

⇒ **バス路線の廃止をきっかけに住民が自らコミュニティバスを運行【三重県四日市市】**

- ・ 三重県四日市市の生活バスは、沿線企業からの協賛金が収入の大きな要素になっているが、企業側にとっては、多少バスの乗客が増えても、自分たちの収益に大きなプラスにならないため、企業がどういう意識を見出せば、協賛を続けてくれるのかが課題であった。
- ・ そこで、バスの運行が地域貢献になっていることを積極的にPRすることで、企業の協賛意識が持続するように努めている。